

ビデオ会議を軸としたコミュニティ形成促進アプリケーション

菊池英明研究室 コミュニケーションスキル班 B4熊沢律紀

I. アプリの特徴

一般的な人（インフルエンサー等SNS慣れをしている人以外）がオンライン上で直接ビデオ会議をし、共通の価値観や趣味、目的を持った人との繋がりを作る事に有効である。

II. 用語

- 話題（主となる部屋、5chでいうスレッドのようなもの）
- 部屋（話題の中に存在する空間、ビデオ会議を実際に行う場所）
- ホスト（部屋の権限を持つ人）
- 丸顔（ビデオチャット中の顔表示）

III. ユーザーの流れ

部屋作成者の流れ

1. アプリを開く
2. 話題投稿設定をする
3. 話題を掲示板に投稿する
4. ホストとしてビデオチャットに参加

部屋に参加する人の流れ

1. アプリを開く
2. 掲示板を見る
3. 気になった話題に入る
4. 部屋の中にいる人を見る
5. ビデオチャットに参加
6. 経過時間15分で強制終了

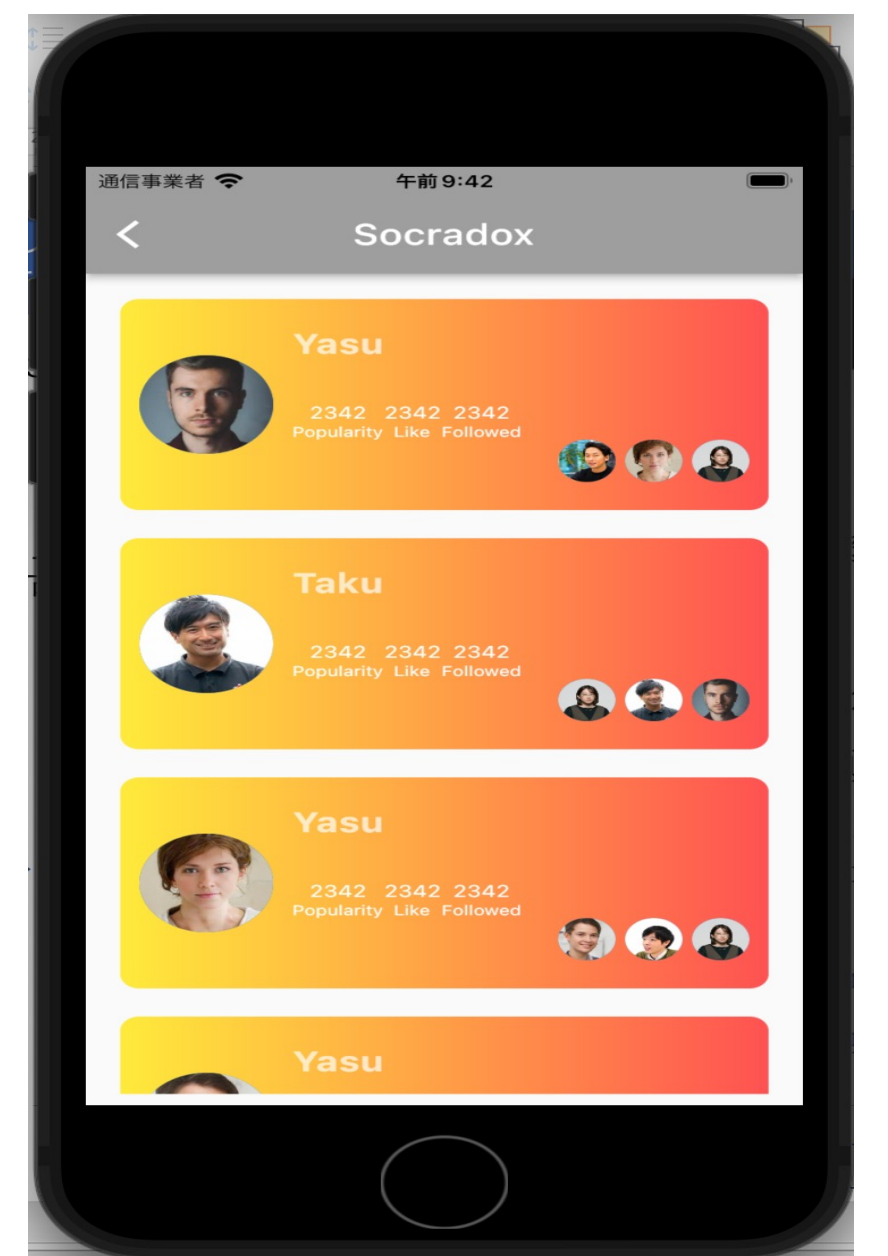
IV. 話題作成画面

- キーワード検索
- ジャンル
- 並び替え・ソートが可能
並び替え項目（新・古い順、人気順、関連度順）
- アカウントや過去の参加話題から優先順を判定する
- ソート（男・女限定、20代限定）
- 話題に設定されている属性をソートできる



V. 部屋一覧画面

- アカウント写真をタップし参加者の情報を取得する
- ビデオ会議時間**15分**でこの画面に遷移される



VI. ビデオ会議



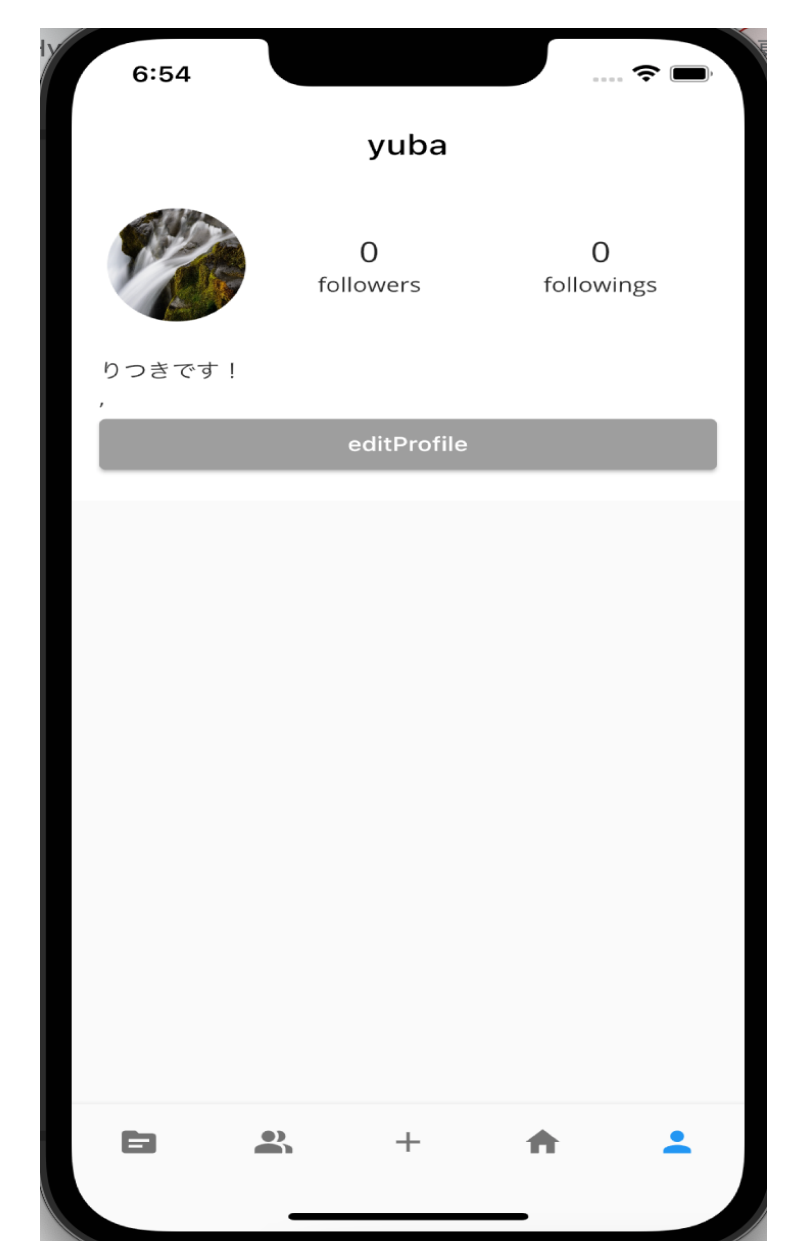
- 他人、自分の音量の調節ができる（おはじき機能）
- 他人、自分丸顔の大きさを自由に変えられる
- 他人、自分丸顔の位置を移動させることができる

メリット

- 簡単に他人を分類できる
（好き：嫌い）（採用：不採用）（賛成：反対）等

VII. アカウント画面

- ビデオ会議画面アカウントをタップすると詳細のアカウント画面を表示できる
- ユーザーへのアピールとしてアカウントページの余白を大きくし、編集可能



VIII. システム有効性の検証

一般的な人が初対面の人との繋がりを作る事に本アプリが有効であるか検証を行う

被験者：他SNSアプリのフォロワー数が1000人以下の人
（インフルエンサーの定義が1000人以上であるため）

手法：本アプリケーションを利用してもらう（時間は未定）

分析：フォロー・フォロワー数の推移とアプリ利用時間から分析